

2022年10月19日(水)第三水曜祈祷会

エゼキエル書27:1～36

「ツロについての哀歌」

【前章までのあらすじ】 *25—32章は、周辺の諸民族、諸国家についての預言

- ①26～28章はツロに対する裁きの預言。ツロは経済的に繁栄し、()と言われていた町。
- ②隣国のエルサレム陥落を見てあざ笑うツロに向かって、神の()の預言が告げられる。
- ③繁栄の絶頂にあったツロが滅ぼされることで、多くの国々が()、神を恐れた。

【観察と黙想】 *

1. ツロの繁栄と美しさ(27章1～25節) *ツロに対する預言は他の諸国に比べて分量が多い

- ①主はどうして「人の子よ、ツロについて哀歌を唱えよ」と告げたのですか。
→
- ②「私は美の極みだ。」というツロの美しさはどのように描かれていますか(5-11節)。
→
- ③ツロと商取引をした国々と品目が列挙されていますが、それらは何を表していますか。
→

2. ツロの悲劇が始まる(27章26～31節) *ツロは繁栄の絶頂期にバビロンに滅ぼされる

- ①「東風が大海のただ中でおまえを打った」とは何を表していますか。
→
- ②繁栄を極めたツロが、「崩れ落ちる日」の損失はどのように描かれていますか。
→
- ③(ツロの)船員たちはどのように描かれていますか。
→

3. ツロの衰退と滅び(27章～節) *32節は「哀歌の中の哀歌」。ツロの滅亡は完全である。

- ①ツロの船が活躍していたころの繁栄はどのように描かれていますか。
→
- ②島々の住民(取引相手)は、ツロが滅亡する様子を見て、どうしましたか。
→
- ③ツロの滅亡は、国々の民の商人にどんな影響を与えましたか。
→

【適用と分かち合い】

- ①繁栄を極めたツロはどうして滅んでいったのですか(28:2も参照)。おごる者ひさしからず。
- ②他人の不幸を見た時、私たちはどうするのがふさわしいのですか(ルカ13:4、5も参照)。
- ③「自分のために蓄えても、神に対して富まない者はこのとおりです」とはどういうことですか。